国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

Press Release

令和 8 年 11 月 20 日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

# CNP 認証（コンテナターミナル）交付式を開催！

## ～東京港大井コンテナ埠頭１，２号を新たに認証します～

コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組の透明化を図り客観的に評価する「CNP 認証（コンテナターミナル）」に基づき、今般、「東京港大井コンテナ埠頭１，２号」（令和 7 年 3 月創設）を認証しましたので、11 月 26 日に認証書の交付式を開催します。

※CNP 認証（コンテナターミナル）の詳細については、国土交通省港湾局記者発表のホームページを参照ください。

１．概要

日時 ： 令和 8 年 11 月 26 日（木）10 時 00 分～（30 分程度）
会場 ： 横浜第 2 合同庁舎内（横浜市中区北仲通 5 丁目 57 番地）
主催 ： 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

２．取材

・取材を希望される報道機関の方は、11 月 25 日（水）12 時までに電子メールにてお申し込みください。
・当日は、9 時 45 分までに会場受付にお越しください。
・カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名が確認できる取材者証（腕章）等の着用をお願いいたします。

＜発表記者クラブ＞　竹芝記者クラブ　神奈川建設記者会　横浜海事記者クラブ

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局 港湾空港部
電話：０４５－２１１－７４１５　　メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp
港湾計画課長　　公平（こうへい）
課長補佐　　笠井（かさい）

別紙１

# 東京港大井ふ頭1，2号コンテナターミナル

| 脱炭素化の取組主体 | 主な取組内容 |
|---|---|
| 東京港埠頭株式会社 | インバーター制御方式のガントリークレーンの導入 |
| 株式会社ダイトーコーポレーション | ハイブリット型RTGの導入<br>尿素式NOX低減トラクターヘッドの導入 |
| 東京港埠頭株式会社 | ヤード照明のLED化、<br>再生可能電力の導入、事務所棟 照明のLED化 |
| 東京都 | 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の導入 |
| 東京都・東京港埠頭株式会社・一般社団法人東京港運協会・株式会社ダイトーコーポレーション | ゲート予約システムの導入、早朝ゲートオープンの実施、降ろし取りの実施 |

［ターミナル概要］

東京港の主力であり、国内最大級の規模を誇る「大井コンテナふ頭」に位置しています。岸壁長660mに20列対応の高規格(インバーター制御方式）ガントリークレーンを配備し、ヤード面積約26ヘクタールを誇る高規格ターミナルです。ゲート前の混雑解消と物流効率化に向けた新システム（CONPAS）の常時運用や、早朝ゲートオープンや卸し取りを実施し、首都圏をはじめとする日本のサプライチェーンを強力に支え、経済の安定と発展に貢献しています。

Carbon Neutral Port
CNP
CNP Certification

認証レベル
Level 4++
(認証日 令和８年１１月２０日)

$CO_2$排出量原単位
5.07 kgs $CO_2$ / TEU



ハイブリッド型RTG




CONPASの常時運用



EV車両及び充電設備

別紙２

| 港・ターミナル名 | 認証レベル | 各レベル取得要件 | | ターミナルの取組状況 | 推奨項目(+)の詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東京港大井コンテナ埠頭１，２号 | レベル４＋＋ | ・港湾脱炭素化推進計画の作成 | | ○ | <ヤード内施設の脱炭素化の取組><br>・管理棟の省エネ<br>＜その他脱炭素化の取組＞<br>・グリーン電力の導入<br>・尿素等の排出ガス低減技術の導入<br>・物流倉庫における省エネ化及び太陽光発電設備の導入<br>・業務用ＥＶ自動車及び充電設備の導入 |
| | | ・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 | (導入率 80%以上) | 導入率 100% | |
| | | ・低・脱炭素型トランスファークレーンの導入 | (導入率 80%以上) | 導入率 92% | |
| | | ・ＬＥＤ照明の導入 | (導入率 80%以上) | 導入率 100%(※) | |
| | | ・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入 | | ○ | |
| | | ・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施 | | ○ | |
| 仙台塩釜港高砂コンテナターミナル | レベル２＋ | ・港湾脱炭素化推進計画の作成 | | ○ | ・ポートラジオ運用による港内混雑の緩和 |
| | | ・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 | (導入率 10%以上) | 導入率 50% | |
| | | ・低・脱炭素型トランスファークレーンの導入 | (導入率 10%以上) | 導入率 43% | |
| | | ・ＬＥＤ照明の導入 | (導入率 10%以上) | 導入率 27% | |
| | | ・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施 | | ○ | |

（※）ターミナルに再生可能エネルギー100%の脱炭素電力が導入されているため、要求事項を満たすものとして評価。

※制度概要や認証ターミナルの情報については、ＣＮＰ認証ポータルサイト（下記二次元コード）に掲載しています。

CNP 認証ポータルサイト

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr4_000088.html

# CNP認証（コンテナターミナル）認証済ターミナル

別紙3

国土交通省

## ●近畿地方整備局管内

①大阪港南港コンテナターミナルC-1/4（令和7年9月）
　レベル2＋　★★☆☆☆
②大阪港夢洲コンテナターミナルC10, C11, C12（令和7年11月）
　レベル2＋＋　★★☆☆☆
③堺泉北港助松コンテナターミナル（令和8年3月）
　レベル1＋　★☆☆☆☆

## ●北陸地方整備局管内

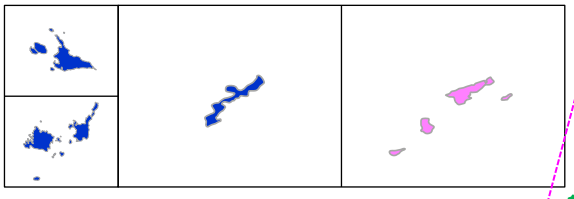
①伏木富山港新湊地区国際物流ターミナル（令和8年4月）
　レベル3　★★★☆☆

## ●中国地方整備局管内

①境港国際コンテナターミナル（令和8年8月）
　レベル1　★☆☆☆☆

## ●九州地方整備局管内

①博多港アイランドシティコンテナターミナル（令和7年9月）
　レベル5＋　★★★★★
②大分港大在コンテナターミナル（令和8年8月）
　レベル1＋　★☆☆☆☆





## ●東北地方整備局管内

①八戸港多目的国際物流ターミナル
（令和7年11月）
　レベル1　★☆☆☆☆
②仙台塩釜港高砂コンテナターミナル
（令和8年11月）
　レベル2＋　★★☆☆☆

## ●関東地方整備局管内

①川崎港コンテナターミナル（令和7年9月）
　レベル4＋　★★★★☆
②千葉港コンテナターミナル（令和8年8月）
　レベル1　★☆☆☆☆
③東京港大井コンテナ埠頭1，2号（令和8年11月）
　レベル4＋＋　★★★★☆

## ●中部地方整備局管内

①名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル（令和8年4月）
　レベル4＋＋★★★★☆
②三河港豊橋コンテナターミナル（令和8年3月）
　レベル1＋★☆☆☆☆
③四日市港コンテナターミナル（令和8年3月）
　レベル1＋★☆☆☆☆
④名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナル（令和8年8月）
　レベル4＋＋＋★★★★☆

## ●四国地方整備局管内

①高松港コンテナターミナル（令和7年9月）
　レベル1　★☆☆☆☆

（令和8年11月20日時点）
赤字は今回認証

# CNP認証の評価基準

別紙4

国土交通省

○ 評価の対象は、①貨物取扱に関する取組、②船舶・車両の脱炭素化、③その他の取組
○ レベル1～5の5段階で認証、各レベルで設定している「要求事項」を全てを満たすことが必要
○ 「推奨事項」を満たしている場合、その項目数に応じて「＋」を付加

CNP認証（コンテナターミナル）評価基準

| 大分類 | 主な取組 | 要求事項（レベル1～5） | | | | | 推奨事項（＋） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 貨物取扱に関する取組 | 脱炭素化に向けた計画を作成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | •構内トラクター電動化など<br>•リーファー施設、管理棟の省電力化など |
| | 低・脱炭素型荷役機械の導入 | － | 10% | 50% | 80% | 100% | |
| | LED照明などの導入 | － | 10% | 50% | 80% | 100% | |
| 船舶・車両の脱炭素化 | 環境に配慮した船舶への入港インセンティブ付与 | － | － | － | ○ | ○ | •船舶への陸上電力の供給<br>•次世代船舶燃料の供給<br>•大型商用EV・FCV等に対するインセンティブ |
| | ゲート予約システムの導入 | － | － | － | ○ | ○ | |
| その他 | 上記以外の低・脱炭素化の取組 | － | － | － | － | － | •低・脱炭素化された電力・燃料の利用<br>•環境配慮タグボートの導入 |